

エコアクション21

環境経営レポート

(報告期間：2022年4月～2023年3月)



作成日 2023年 6月 15日

更新日 2023年 8月 3日

MARUHO
(有)丸保商店

目 次

表	紙	P1
目	次	P2
1	事業概要	P3
2	許認可取得状況	P4
3	(1)～(2) . 施設の状況等 (中間処理・積替え保管)	P5
	(3)～(4) . 施設の状況等 (収集運搬・処理工程)	P6
4	環境経営システム推進実施体制	P7
5	環境経営方針	P8
6	環境目標とその実績	P9
7	主要な環境経営計画の内容と評価	P10
8	環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反・訴訟等の有無	P11
9	代表者による全体評価と見直し・指示の結果	P12
10	環境・社会貢献活動への取組み	P13

1.事業の概要

(1) 事業社名及び氏名

事業者名：有限会社 丸保商店
 代表者：代表取締役 伊藤 憲幸

(2) 所在地

No.	名称	所在地
1	本社・工場	東京都足立区竹の塚二丁目32番17号
2	神明南リサイクルセンター	東京都足立区神明南一丁目14番23号
3	資材置場（無人）	埼玉県川口市大字安行吉蔵中道東12他
4	第1駐車場	東京都足立区竹の塚三丁目14番7号
5	第2駐車場	東京都足立区竹の塚三丁目17番2号
6	第3駐車場	東京都足立区保木間五丁目1番18号

(3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者：伊藤 憲幸（代表取締役）
 連絡先：電話 03-3883-4649 / e-mail : itou@maruho-s.com

(4) 事業活動の概要

産業廃棄物収集運搬（積替え・保管を含む）
 産業廃棄物処分（中間処理）切断圧縮、切断、破砕

(5) 事業の規模

No.	項目	内容
1	法人設立日	昭和63年12月15日
2	資本金	7,000,000円
3	売上高	226,281,616円（2022年度）
4	従業員	13人
5	敷地面積	本社・工場：172.88㎡ 神明南RC：340.26㎡
6	廃棄物処理量 (2022年4月～2023年3月)	収集運搬量：3,554 t 中間処理量：3,600 t

(6) 対象範囲

全組織・全活動を対象とする

2.許認可取得状況

(1) 産業廃棄物処分量

種別	許可項目			産業廃棄物の種類																		
	許可を受けている都道府県(処分方法)	許可番号(施設名)	許可年月日 許可の有効期限	金属くず	ガラス陶磁器	プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ	鉱さい	ばいじん	石綿含有物	水銀使用製品	
処分量	東京都 (切断圧縮、切断)	13-20-024825 本社・工場	令和2年6月23日	○	○	○	○	○	○													
	東京都 (破碎、切断)	13-20-024825 神明南RC	令和7年6月22日	○	○	○	○	○	○													○

(2) 産業廃棄物収集運搬業

種別	許可項目			産業廃棄物の種類																		
	許可を受けている都道府県	許可番号(施設名)	許可年月日 許可の有効期限	金属くず	ガラス陶磁器	プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類	ゴムくず	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	動植物性残さ	鉱さい	ばいじん	石綿含有物	水銀使用製品	
積保あり	東京都 積保 本社・工場 神明南RC	13-10-024825	令和1年12月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和6年12月14日	●	●	●				●			●	●	●							●
積保なし	千葉県	01200024825	令和3年8月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和8年8月19日																			
	埼玉県	01101024825	令和1年12月24日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和6年12月12日																			
	神奈川県	01403024825	令和3年12月22日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和8年12月15日																			
	茨城県	00801024825	令和4年10月11日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和9年7月31日																			
	群馬県	01000024825	令和2年9月16日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和7年9月15日																			
	栃木県	00900024825	令和2年9月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和7年9月1日																			
	宮城県	00400024825	令和1年8月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			令和6年8月11日																			
福島県	00707024825	令和2年4月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和7年4月21日																				
山形県	00609024825	令和2年7月27日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和7年7月26日																				
新潟県	01509024825	令和2年8月26日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和7年8月19日																				
長野県	2009024825	令和2年8月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和7年8月11日																				
山梨県	01900024825	令和2年8月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和7年8月11日																				
静岡県	02201024825	令和2年8月12日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		令和7年8月11日																				

※ ●は「積替え保管」の産業廃棄物の種類

(3) その他

許可・登録・届出	許可・登録番号	取得・期限	内容
1 廃棄物再生事業者登録	東京都 第144号	平成9年12月17日 期限なし	金属くずの再生
2 古物商(機械工具商)	東京都公安委員会許可 306699701771	平成9年5月30日 期限なし	機械工具の販売・買取

3. 施設の状況等（中間処理・積替え保管）



(1) -1 中間処理施設（本社・工場）

処理方法	廃棄物の種類	処理能力	
		単独	混合
切断圧縮	廃プラスチック類	4.1 t/日	5.8 t/日
	金属くず	8.5 t/日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	5.3 t/日	
	紙くず	6.3 t/日	5.1 t/日
	木くず	3.1 t/日	
	繊維くず	5.8 t/日	
切断	廃プラスチック類	1.0 t/日	*****
	木くず	0.3 t/日	
	金属くず	18.4 t/日	

(1) -2 中間処理施設（神明南リサイクルセンター）

処理方法	廃棄物の種類	処理能力	
		単独	混合
破砕	廃プラスチック類	3.3 t/日	7.7 t/日
	紙くず	3.0 t/日	
	木くず	4.8 t/日	
	繊維くず	1.2 t/日	
	金属くず	7.1 t/日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	12.6 t/日	
破砕	がれき類	4.8 t/日	*****
破砕	廃蛍光灯、廃HIDランプ、廃放電ランプ (水銀使用製品産業廃棄物)	*****	1.9 t/日
切断	廃プラスチック類	1.0 t/日	*****
	木くず	0.3 t/日	
	金属くず	18.4 t/日	

(2) -1 積替え保管施設（本社・工場）

積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量
172.88㎡	がれき類	200Lドラム缶1個 0.20m ³
最大保管高さ：0.9m		合計保管量 0.20m ³

(2) -2 積替え保管施設（神明南リサイクルセンター）

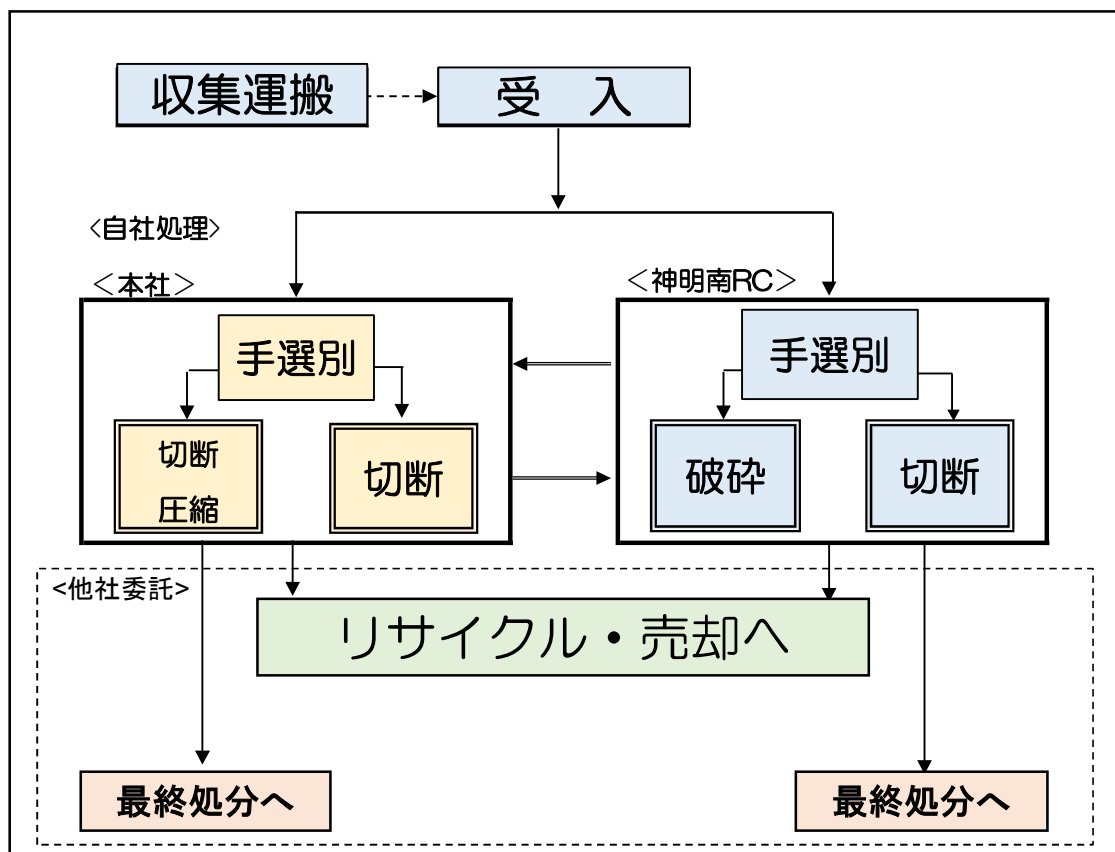
積替え保管面積	廃棄物の種類	保管量
340.26㎡	汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）に限る。）	20Lペール缶1個 0.02m ³
	汚泥、金属くず（廃乾電池（水銀使用製品産業廃棄物）に限る。）	20Lペール缶1個 0.02m ³
	廃油	200Lドラム缶1個 0.20m ³
	廃油、廃酸、廃プラスチック類、金属くず（廃塗料類に限る。）	200Lドラム缶1個 0.20m ³
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（いずれも石綿含有産業廃棄物を含む。）	フレコンバック1個 1.00m ³
最大保管高さ：1.35m		合計保管量 1.44m ³

3. 施設の状況等（収集運搬・処理工程）

(3) 運搬車両の種類と台数

No.	運搬車両の種類	台数
1	2トン平ボディー	2
2	2トンパワーゲート付	1
3	3トン平ボディー	3
4	3トンアームロール	1
5	4トン平ボディー	1
6	4トンアームロール	6
7	4トンクレーン付	1
車両台数合計		15

(4) 処理工程図



《廃棄物処理料金について》

廃棄物の種類、数量、排出場所等により、お見積り致します。
 弊社担当伊藤までご相談ください。 TEL：03-3883-4649
 FAX：03-3859-9010
 E-mail itou@maruho-s.com

有限会社丸保商店 エコアクション21 推進実施体制



担当者	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任。 ・環境経営システムの実施に必要な資源等を準備。 ・環境管理責任者を任命及び環境経営システム推進実施体制を構築。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 ・環境経営計画表を承認。 ・代表者による全体の評価と見直しを実施。 ・環境経営レポートの承認。
環境管理責任者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 ・環境経営計画表を確認。 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告。 ・環境経営レポートの確認。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。 ・環境関連法規等の取りまとめ票の作成。 ・環境関連法規等の取りまとめ票に基づく遵守評価の実施。 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐。 ・緊急事態への準備と対応 ・EA21推進事務局。 ・環境経営レポートの作成、公開。 ・環境活動の実績集計。 ・環境経営計画表の作成。
2階事務所責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・2階事務所兼任居における環境活動の一切の権限。
各担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当部門における環境経営システムの実施。 ・各担当部門における環境経営方針の周知。 ・各担当部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・各担当部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的に環境活動へ参加。

有限会社丸保商店 環境経営方針

企業理念

有限会社丸保商店は、廃棄物の収集運搬及び処分を通して地球の環境保全に貢献するとともに、循環型社会の形成にお役立ちする為に継続的な環境改善活動を進めて行きます。また、環境関連法規等を遵守いたします。

- 1、受託する産業廃棄物の再資源化を促進し最終処分量の低減に努める。
- 2、エコドライブによる二酸化炭素排出量の低減に努める。
- 3、水道水使用量の削減に努める。
- 4、電気使用量の削減に努める。
- 5、会社周辺の清掃を実施し、地域の環境保全に協力する。

社内の要所に環境経営方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

2010年7月2日 作成
2022年3月25日 改定

有限会社丸保商店
代表取締役 伊藤憲幸

6.環境目標とその実績



(1) 2022年度実績（期間：2022年4月～2023年3月）

		2020年度 (基準年)	2022年度			
項目	単位	実績	目標	実績	評価	備考
①電力の削減	kwh	18,363	17,996	18,986	×	※処分量 基準年度:2,249 t /年 当該年度:3,600 t /年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	8,117	7,955	8,371		
②収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	5.69	5.92	6.34	○	※走行距離 基準年度:98,297km 当該年度:122,551km
収集運搬車両の燃料使用量	ℓ	17,285	16,594	19,338		
// の二酸化炭素排出量	kg-CO2	44,596	42,812	49,892		
③水道水使用量の削減（中間処理）	m ³	54.1	53.0	89.5	×	※処分量 基準年度:2,249 t /年 当該年度:3,600 t /年
④一般廃棄物の削減	kg	15.5	14.9	18.5	×	
	kg/月平均	1.29	1.24	1.54		
⑤受託産業廃棄物のリサイクル率向上	%	89.9	91.7	86.8	×	
⑥会社前清掃	回/年	24	24	24	○	

2022年度 二酸化炭素総排出量 63,998 kg-CO2

* 購入電力についての二酸化炭素排出係数は0.441kg-CO2/kWhを採用

（東京電力エナジーパートナー 2019（平成31・令和元）年度 調整後排出係数）

* 二酸化炭素総排出量は、重機等により排出量された二酸化炭素（5,735 kg-CO2）を含む

(2) 中期目標（期間：2023年度～2025年度）

2022年度を「基準年」として「原単位」を用いた中期目標を設定する

		実績	目標			備考
項目	単位	2022年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度	
①電力の削減	kwh/処理量	5.274	5.168 (基準年2%減)	5.063 (基準年4%減)	5.010 (基準年5%減)	
二酸化炭素排出量	kg-CO2/処理量	2.325	2.278 (基準年2%減)	2.232 (基準年4%減)	2.208 (基準年5%減)	
②収集運搬車両の燃費向上	km/ℓ	6.34	6.40 (基準年1%増)	6.46 (基準年2%増)	6.53 (基準年3%増)	
③水道水使用量の削減	m ³ /処理量	0.025	0.0245 (基準年2%減)	0.0240 (基準年4%減)	0.0237 (基準年5%減)	
④一般廃棄物の削減	kg/年	18.5	18.0 (基準年2%減)	17.7 (基準年4%減)	17.5 (基準年5%減)	
	kg/月平均	1.54	1.50	1.47	1.45	
⑤受託産業廃棄物のリサイクル率向上	%	86.7	88.4 (基準年2%増)	90.1 (基準年4%増)	91.0 (基準年5%増)	
⑥会社前清掃	回/年	24	24	24	24	

* 購入電力についての二酸化炭素排出係数は0.441kg-CO2/kWhを採用

（東京電力エナジーパートナー 2019（平成31・令和元）年度 調整後排出係数）

7. 主要な環境経営計画の内容と評価

2022年度目標とその実績についての計画と評価

取組項目	達成状況	評価 (結果と今後の方向性)
電力の削減 <ul style="list-style-type: none"> 省エネルギーを活用し節電を促す 無駄な電気は消す(退室時・昼休み) 空調温度の適正化(冷房28℃前後・暖房20℃前後) 	目標：17,996kWh/7,955kg-co2 実績：18,986kWh/8,371kg-co2 (目標設定：基準年度対比2%減)	× 目標未達。 未達の要因は、基準年度の処分量(2,249t/年)に対し、3,600t/年と処分量が大幅増となったことが原因と考える。 現場では、効率的な破碎・圧縮処理を推進し、処理量当たりの電気使用量の削減効果は徐々にしている。 今後の目標設定方法の変更を検討したい。
収集運搬車両燃料の燃費向上 <ul style="list-style-type: none"> エコドライブ10のすすめの実施 各車両毎の燃費を月毎に算出 アイドリングストップ 低燃費車両の活用 	目標：5.92km/ℓ 実績：6.34km/ℓ (目標設定：基準年度対比4%減)	○ 目標達成。 エコドライブの実践効果が着実に浸透した結果と考える。 今後もエコドライブの定着が継続する様、教育と車両整備(タイヤ空気圧等)を推進したい。
水道水使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> 節水シールを貼り節水を促す ホースの先に散水弁を付ける 	目標：53.0m ³ 実績：89.5m ³ (目標設定：基準年度対比2%減)	× 目標未達。 未達の要因は、基準年度の処分量(2,249t/年)に対し、3,600t/年と処分量が大幅増となった為に破碎処理時に使用する散水量が増加したことが大きな要因。 現場では、破碎機への投入方法を工夫して散水量の削減に努めている。 今後の目標設定方法の変更を検討したい。
一般廃棄物の削減 <ul style="list-style-type: none"> コピー用紙の裏紙を使用する 廃コピー用紙のリサイクル ペットボトルのリサイクル 	目標：14.9kg 実績：18.5kg (目標設定：基準年度対比4%減)	× 目標未達。 廃棄物の分別をさらに推進し、初便量の削減に努めたい。
受託産業廃棄物のリサイクル率向上 <ul style="list-style-type: none"> 新規リサイクル業者の開拓 リサイクルできるものの教育・周知徹底 リサイクル可能、不可能のカラ写真を作成し事務所に備える 	目標：97.7% 実績：86.8% (目標設定：基準年度対比2%向上)	× 目標未達。 二次処理先の搬入先拡大、廃棄物収集時に分別・積込の徹底、処分施設での分別精度を高め、リサイクル率を向上させる。
会社前清掃 <ul style="list-style-type: none"> 月2回、会社周辺の一斉清掃 清掃チェックリストの作成・使用 	目標：年24回以上 実績：年24回	○ 目標達成。 清掃活動が定着している。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



弊社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、これらの違反はありませんでした。
 なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。

No.	環境関連法規	内 容	違反有無
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬業許可証の有効期限確認	無し
		処分業許可証の有効期限確認	無し
		処分業設置許可の確認	無し
		処理施設技術管理者の確認	無し
		廃棄物保管基準（周囲に囲い、流出防止、掲示板）	無し
		収集運搬を行う場合の基準（許可番号等の表示）	無し
		委託基準、委託契約書の記載事項	無し
		契約書等保存期間	無し
		産業廃棄物管理票（マニフェスト）	無し
		電子マニフェスト	無し
		帳簿の記載、備付と保存	無し
		産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	無し
		実績報告書の提出	無し
		再委託の禁止	無し
		処理業者から処理困難の通知	無し
委託者への処理困難通知制度	無し		
2	騒音規制法	規制基準値を遵守する	無し
3	振動規制法	規制基準値を遵守する	無し
4	下水道法	規制基準値を遵守する	無し
5	建設リサイクル法	建設（解体）工事を発注する場合都道府県に届出	無し
6	自動車Nox-PM法	対象トラック等に除外装置への設置	無し
7	自動車リサイクル法	自動車リサイクル法に基づく引渡時の証明書等	無し
8	資源（パソコン）リサイクル法	使用済みパソコンの廃棄確認	無し
9	家電リサイクル法	家電リサイクル法に基づく廃棄時の確認	無し
10	小型家電リサイクル法	小型家電リサイクル法に基づく廃棄時の確認	無し
11	消防法	消防用設備点検の確認等	無し
12	東京都環境確保条例	エコドライブの努力義務等	無し
13	足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	分別の徹底・発生抑制の努力義務等	無し

9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果



A: 前回の指示への取組結果

前回の指示事項	取組結果
リサイクル率については、意識の向上、可否判断及び徹底をして目標達成を目指すこと。	現場では分別徹底の定着化が進んでいるが、再生不可物の搬入も多かったことから、目標未達となった。
エコドライブ10の実施活動に加え、配車管理において低燃費車を活用するなど、これまでの取組みを改めて意識し更なる燃費向上を目指すこと。	エコドライブ10の実施活動がドライバーに浸透し、その結果も数字に表れている。 今後も継続して行きたい。
作業時の鉄扉閉を継続するに加え、防振マット上での作業や、防音工事などの対応をした。今後も騒音・振動の発生防止に努めること。	指示事項を行った結果、今年度は騒音の苦情はなかった。

B: 今回の評価結果

見直しに必要な情報 (環境管理責任者の報告事項)	代表者の評価結果 (有効に機能しているか、適切に実施されているか)
1. 環境目標の達成状況 電力: 目標比 約+5.5% (未達) 産廃: 目標比 約△4.9% (未達) 燃費: 目標比 約+7.0% (達成) 水: 目標比 約+68.8% (未達) 一廃: 目標比 約+24.3% (未達) 清掃: 計画通り実施 (達成)	≪電力≫ 受託廃棄物処理量が前年(2,906t)に対し、当期(3,600t)の処理量が大幅増(24.1%増)となった為、目標未達となってしまった。但し、現場サイドでの効率的な処理施設の稼働は定着が進んでいるので、今後も徹底していきたい。現状の環境目標(基準年の排出総量から削減)では、搬入量の増減が大きな影響を受けることにあるので、「原単位」の目標設定に変更すること。 ≪産廃(リサイクル率)≫ リサイクル処理可能な二次処理先を確保するのが目標達成のカギと考えるので、二次処理先の取引拡大を進めること。 ≪燃費≫ エコドライブの推進が定着してきたことが結果に現れてきたと考える。
2. 環境活動計画の実施及び運用結果 電力: 受入量の増加が電力使用量増につながった。 産廃: 選別の徹底を推進したが、再生不可物の受入増が影響し、リサイクル率向上が出来なかった。 燃費: エコドライブの定着化が好成績につながった。 水: 受入量の増加が水使用量増につながった。 一廃:	今後も着実にエコドライブを進めること。 ≪水≫ 電力同様、廃棄物の受入量増加に伴い、散水量が増加に転じたのが原因と考える。次年度以降の目標設定は「原単位」の目標設定に変更すること。 ≪一廃≫ コピー用紙以外の空き缶、ペットボトル、その他資源物の分別を推進し、リサイクル率を向上させること。 ≪清掃≫ 清掃活動の定着化が出来ている。今後も継続するよう徹底してほしい。
3. 環境関連法規等の遵守状況 関連する環境法規等の改正を調査確認。	環境法規の改正を確認した。 遵守評価を2023年3月25日に実施した。
4. 外部からの環境に関する苦情・要望 神明南RCの騒音・振動について苦情はない。	作業時の鉄扉閉を継続するのに加え、防振マット上での作業や、防音工事などの対応をした。今後も騒音・振動の発生防止に努めること。

C: (環境管理責任者への) 指示内容

指示項目	変更する 必要性判断	代表者の指示内容(5W1Hで)
1. 環境経営方針	有 <input checked="" type="radio"/> 無	継続する
2. 環境経営目標	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	2022年度実績を基準として目標を策定し、3か年計画で電気使用量、収集運搬車両燃料の燃費向上、水使用量は「原単位」の目標設定に変更すること
3. 環境活動計画	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	環境目標の達成の為に、各担当者との協議の上、具体的な活動計画を立案し、実践すること
4. 実施体制の構築	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	業務ごとに担当者を決めていたが、次年度からは「環境事務局」「収集運搬」「中間処理施設」の部門毎に責任者を配置し統制を図ること
5. 環境経営システム(上記1, 2, 3, 4以外)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	・特になし

10.環境・社会貢献活動への取組み

弊社では、周辺環境に配慮する為、本社・工場及び神明南RCの周辺道路を定期的に清掃を行っております。



【清掃活動：本社・工場】



【清掃活動：神明南RC】



【清掃活動：本社・工場】



【清掃活動：神明南RC】



【清掃活動：本社・工場】



【清掃活動：神明南RC】



【清掃活動：本社・工場】



【清掃活動：神明南RC】